

世界自然遺産5地域会議主催

千の自然 の時間 私たちと世界自然遺産5地域

子どもたちの作文、
大型自然映像、トーク、
芸能パフォーマンス、
国際シンポジウム、
パネル展示。
それぞれの視点から
人と生きものが響き合ってきた
共生と循環の物語を掘り起こし、
私たちの「環境文化」として
示します。

自然の
千の
時間



2025

6/5

(木)

11:00 - 18:30

会場：EXPO ホール (シャインハット)

日本の世界自然遺産は、1993年から2021年の間に5地域が登録されています。第1号の屋久島、白神山地は、2023年に登録30周年を迎えました。登録された5地域は、自然保護のために独自の工夫を重ねてきました。日本の国立公園は、自然保護と暮らしとの調和を目指してきたことを、その特徴としています。世界自然遺産5地域会議は、大阪・関西万博を舞台に「共生」や「環境文化」という日本型自然保護のメッセージを、世界に向けて発信していきます。



白神山地



小笠原諸島



知床



屋久島



奄美大島・徳之島



沖縄島北部・西表島

2025 6/5 (木) TIME TABLE

開場 10:30 START 11:00

千の自然・千の時間

私たちと世界自然遺産5地域

11:00
12:00
世界自然遺産と私たち
みつけた！自然のふしぎ・自然と暮らす楽しみ
遺産地域に住む子ども作文コンクール
代表作品発表と授賞式

日本の世界自然遺産
『千の自然・千の時間』に出会う①
知床、白神山地、小笠原諸島、屋久島、
奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島
大型映像とトーク
※各地域約5分の自然映像上映に続き、地域紹介トーク
【知床】村田良介（知床財団理事長）
【白神山地】南圭介（俳優、白神山地魅力発信アンバサダー）
藤里町長、弘前市長、鯉ヶ沢町長、
深浦町長、西目屋村長
【小笠原諸島】川上和人（鳥類学、NHK 子ども科学電話相談）
【屋久島】中馬慎一郎（屋久島公認ガイド）
【奄美大島・徳之島】平城達哉（奄美博物館学芸員）
【沖縄】仲間由紀恵（俳優、沖縄県世界自然遺産大使）
★映像提供 TBS「世界遺産」毎週日曜午後6時放送中

日本の世界自然遺産
『千の自然・千の時間』に出会う②
芸能パフォーマンス
【白神山地】藤琴豊作踊り（志茂若郷土芸術会）
【小笠原】弾き語り（Okey + 松永希、渋谷正昭）
【屋久島】楠川盆踊り（楠川盆踊り保存会）
【奄美大島・徳之島】島唄・八月踊り（里朋樹 + 関西奄美会）

日本の自然遺産
『千の自然・千の時間』を未来へ
国際シンポジウム
「世界自然遺産を引き継ぎ、
活かす・共生と循環の理念」
地球環境危機の時代、文化と科学が共鳴しあう新たな環境倫理の下でのパラダイムシフトに日本の世界自然遺産が果たし得る役割を問う。
●登壇者
山極壽一（座長／人類学・霊長類学者）
有働由美子（総合司会／ジャーナリスト）
小野寺浩（公益財団法人 屋久島環境文化財団理事長）
西村明（宗教学・文化資源学者）
ラマン・スクマール（生態学者、インド）
カレン・B・ストライア（人類学者、南アメリカ）

18:00
18:30
クロージング
振り返りと5地域から国内外へのメッセージ発表



総合司会
有働 由美子 Yumiko Udo
アナウンサー、ジャーナリスト
東京大学総合防災情報研究センター客員研究員
NHK 時代「サンデースポーツ」「あさイチ」などの番組を担当。退社後「news zero」（日本テレビ）メインキャスター、現在は「有働 Times」（テレビ朝日）にてニュースを届けている。



国際シンポジウム・コーディネーター
山極 壽一 Juichi Yamagiwa
人類学・霊長類学者
総合地球環境学研究所所長、
京都大学名誉教授
屋久島で野生ニホンザル、アフリカ各地で野生ゴリラの社会生態学の研究に従事。2025年大阪・関西万博シニアアドバイザーを務める。

●主な登壇者プロフィール



仲間 由紀恵 Yukie Nakama

俳優・沖縄県世界自然遺産大使。沖縄美ら海水族館名誉館長も経験。沖縄県出身。95年ドラマデビュー。以後、テレビ、映画、CMなどで幅広く活躍。主な出演作に、ドラマ「トリック」「ごくせん」「相棒」、舞台「放浪記」など。2022年、やんばるを舞台にしたNHK連続テレビ小説「ちむどん」ではヒロインの母を演じた。



南 圭介 Keisuke Minami

俳優・白神山地魅力発信アンバサダー。
世界遺産検定マイスターの知見を活かし、「朝だ！生です旅サラダ」海外リポーターなどで活躍中。白神山地満喫ツアーなどで地域を盛り上げている。主な出演作品として、舞台「テニスの王子様」「MANKAI STAGE『A3!』ACT3! 2025」、TVドラマ「宇宙戦艦キュウレンジャー」「最高のオバハン中島ハルコ」などがある。



小野寺 浩 Hiroshi Onodera

公益財団法人屋久島環境文化財団 理事長。
1973年環境省（当時環境庁）に入庁。自然環境局長などを歴任。自然再生法、外来種法の新規立法や自然公園法の改正などに多数従事。屋久島や奄美群島を世界自然遺産登録へと導いた。現在、世界自然遺産5地域会議代表を務める。



村田良介 Ryosuke Murata

公益財団法人知床財団理事長。知床博物館学芸員、斜里町環境保全課長、教育長などを経て現職。環境保全課長時代に知床の世界自然遺産登録や「しれとこ100平方メートル運動」を担当。かつての専門は考古学だが知床の海と沢と山をこよなく愛す。



川上和人 Kazuto Kawakami

森林総合研究所 北海道支所地域研究監、鳥類学者、農学博士。NHK 子ども科学電話相談（鳥類）回答者。小笠原諸島に生息する鳥類の進化と保全に関する研究が専門。著書に「鳥類学者だから、鳥が好きだと思うなよ。」など。



西村 明 Akira Nishimura

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授。
近現代日本社会における宗教や死者の存在、そこから派生して環境や地域文化にも焦点をあてた研究を行う。近年では日本の南西諸島も含めた太平洋諸島・東南アジア島嶼域にも関心を寄せている。



ラマン・スクマール Raman Sukumar

生態学者・インド科学研究所生態学センター名誉教授。
2006年（第14回）コスモス国際賞受賞者。象の生態学的、動物行動学的な研究成果を踏まえて、象と人間との共存のための多くの手法を開発。アジア各国の数多くの野生生物保護プログラムに関わる。



カレン・B・ストライア Karen B Strier

ウイスコンシン州立大学教授。南米大陸の霊長類研究の権威。ブラジル東部のムリキ（クモザル的一种）に焦点を当て、霊長類種の生息地が縮小し重複するなかで、種間の行動の変化や個体群の存続可能性について研究。著書に「霊長類の行動生態学」などがある。ブラジルに研究室を持つ。